

# 平成 27 年度 見附市生徒指導部 活動報告

部長 小川 深雪

## 1 研究主題

ネットトラブル防止について

## 2 研究概要

スマートフォンやゲーム機等を使った子どもたちのネットトラブルが問題となり、年々増加している。ネットにつながる通信機器が多様化し、教師や保護者が十分把握していない現状がある。そこで、生徒指導部員対象の講演会を開き、具体的なネットトラブルの事例を基に、児童生徒への指導や保護者への啓発の仕方について学ぶ。

## 3 研究の実際

### ○講演

「ネット社会における保護者、教師の役割～ネットトラブルの実例に学ぶ～」

長岡青少年サポートセンター 藤田優子様

<内容>

- ・小・中学生の検挙・補導数が増えている。内容としては万引きが多い。以前より低年齢化している。
- ・ネットトラブルについて実際にあった事例についての報告。  
SNS への書き込みや有害サイトへの接続によるトラブル。  
ネット上に名前や写真などの個人情報載せることによるトラブル。
- ・ネットは公共の場であるという意識の欠如。
- ・大人も情報収集すること。ネットにつながる全ての機器にフィルタリングする必要があること。

## 4 成果と課題

子どもたちを取り巻くネット環境は急速に発達しており、何かしらの機器を使って、ネットを使う機会が増えている。LINE などの SNS を使った悪口や仲間外しによるいじめ、位置情報が載った写真や個人が特定できるような写真の投稿による被害など、実際にあった事例を聞くことで、より具体的に起こりうる被害について理解することができた。

ネットトラブルを防ぐためには、保護者が子どものネット接続の現状を把握し、適切な使い方をしているかをチェックしたり、有害なサ



イトに接続できないようにフィルタリングをしたりすることが大切である。そのためには、学校が保護者向けにネットトラブル防止についての啓発を行うことが重要となる。さらに、教師は子どもたちのネット利用の状況を把握し、適切な指導を継続して行っていく必要がある。大人がネットや接続機器について情報収集したり理解を深めたりして、子どもが加害者にも被害者にもならないように、各学校で確実にネットトラブル防止に努めていくことが、今後の課題である。